

魚沼民商だより

2017年
2月 13日

第2041号

発行 新潟県魚沼市板木
電話 025(792)3064
e-mail:uminsyo@rose.ocn.ne.jp

**集まつて、アンケートを
もとに交渉しています！**

いまずべでの
支部班で、「営
業と暮らしの実
態と業者の願い
を伝えるアンケ
ート」（新商連
作成）をもとに、会員とうしの交
流が図られています。



とくに印象的のは、アンケー
ト「私の国政・県政への願い」欄
に「貧困生活の改善」と記載があ
りました。この間の集まりでも、
電話相談でも「生活が苦しい」の
声が日増しに強くなっています。

現在の日本社会の姿は、超富裕
層がますます富み、国民全体の所
得が低下するなかで、中間層が疲
弊し、貧困層が増大していること
です。格差問題は一部の貧困層だけ
の問題ではありません。いまや
倒産、失業、リストラ、病気、介
護などで職を失えば、誰もが貧困
に陥ってしまう社会構造となっ
ています。これは他人事ではありません。
ある班会では、「毎年、コメを
無償で届けているよ」「〇〇さんが
が病氣で倒れた。商売はどうする
のだろうか。生活は」等、深刻な
事態が浮き彫りとなっています。

これから自主申告活動の集まり
が旺盛に行われます。この時期「税
金の集め方」「税金の使い方」に
ついてお互いが学び合います。

ここで「1%の富裕層や大企業
のための政治転換を」「根本か
ら日本の社会のあり方を変える」
ことの話し合いがとても大切で
す。私たち自営業者を苦しめる安
倍暴走政治を打開する保障は、や
はりこの地域に多くの仲間を民商
に迎え入れることと、民商の良き
理解者である商工新聞読者を増や
すことあります。

**魚沼市・宿泊半額キャンペ
ーン、昨日で受付終了！**

魚沼市は年末年始のスキー場や
宿泊業者、除雪などの建設事業者
の緊急支援対策で総額2億円の補
正予算を12月定例議会最終日に
提出され全会一致で可決されました。
その内容は利子補を行う融資、
スキーセンターのリフト券や宣伝などの
補助、そして宿泊施設の宿泊代金
半額補助などの支援が盛り込まれ
ました。（1月29日・民報うお
ぬま）より転載。

その支援策の目玉である、宿泊
半額キャンペー「うおぬま 冬
のたび」の受付を2月1日に実施、
その日に予算額に達し、受付終了
となりました。昨シーズンに続い
て、今回も大好評でした。

この魚沼地域では、農業・観光
業・建設業が経済産業の主力だけ
に、地域の自営業者に寄り添つ（※
実態に即した）支援策が功を奏し
たのではないかでしょうか。

昨秋、湯沢町要請行動で、ふる
さと納税を活かした「ありがとう
湯沢」応援感謝券がとても好評で、
ふるさと納税額が前年度の倍以上
と田村町長の話しが思い起こしま
した。やはり住宅リフォーム補助
制度と同様に、地元に「お金」「モ
ノ」「ひと」を回すことが、いか
に重要かが示されました。

**湯沢・みつまたの藍さん
が雑誌に掲載！**

ついで1面もご覧ください！

法律相談のお知らせ

日 時	2月 14日(火)
	午後1時より
会 場	民商事務所
弁護士	二宮 淳吾 先生 (新潟合同法律事務所)
相談料	3,000円
※事前の予約制です。早めに民商事 務所までご連絡ください。	

SK-i (2017 VOL2)
ブルースキーガイド（出版社・実
業之日本社）に、湯沢町三俣の藍
さん（清津川レイクサイドロッヂ
の娘さん）のことが掲載されてい
ます。

雑誌の表紙に藍さんの勇姿が飾
られ、特集でスキー女子のことが
掲載されました。小野塚彩那



三・一三重税反対全国統 一行動小千谷魚沼集会！

日 時 3月13日（月）

午後1時00分開会

会 場 小千谷市民会館